

授 業 目 名	小児聴覚障害実習(聴力検査含む)	授 業 形 態	演習・実習
		配 当 学 期	2年(前期)
担 当 教 員 名	先川 貴久和	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 子どもたちが抱えている聴覚障害について理解を深め、対象児に応じた検査法の選択について講義を行う。</p> <p>〔学習目標〕 実習を通して様々な検査機器を実際に操作し、正確な検査技術を身につける。さらに、検査の結果から子どもたちの「聞こえ」の状態を保護者の方へ分かりやすく説明できるようになることを目標とする。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	聴覚の発達		
第 2 回	発症時期と障害の質		
第 3 回	新生児聴覚スクリーニング		
第 4 回	新生児の聴覚検査(聴性反応検査)		
第 5 回	新生児の聴覚検査(OAE)		
第 6 回	新生児の聴覚検査(AABR)		
第 7 回	乳幼児の聴覚検査(BOA)		
第 8 回	乳幼児の聴覚検査(COR)		
第 9 回	乳幼児の聴覚検査(ピープショウテスト)		
第 10 回	乳幼児の聴覚検査(遊戯聴力検査)		
第 11 回	幼少児の聴覚検査(語音聴力検査)		
第 12 回	実技テスト		
第 13 回	聴覚障害児の評価(知能、運動、言語、コミュニケーション等)		
第 14 回	聴覚障害児の発話特徴		
第 15 回	補聴器・人工内耳について		
評 価 方 法	各種検査についての実技試験で評価します(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 立木孝監修「聴覚検査の実際 改訂4版」南山堂</p> <p>〔参考図書〕 配布資料あり</p>		
履 修 上 の 留 意 点	遅刻、欠席は正当な理由がある場合を除いて、原則認めない。		
メ ッ セ ー ジ	子どもたちと保護者が安心して検査に臨めるよう、休み時間などを利用して繰り返し手順や方法を身につけてください。		